

2025.10.30 甲賀市立貴生川小学校 6 年生 東京海上日動「地震と防災」連携授業

<学級数 3 児童計 79 名 2,3,4 時間目 多目的室>

授業の流れ

1 東京海上日動とは

- ・140年も前に創業された。
- ・地震など自然災害が起こり、困っている方を保険で支援する。年々増加傾向にある。



2 地震と津波のメカニズム

- ・クイズ1「大きな地震がきたら、どんなことが起こる？」

- 建物にひび・崩れる、地割れ、道路寸断、家事、津波などで命の危険が生じる
- 能登半島沖地震、熊本地震、東日本大震災、阪神淡路大震災など

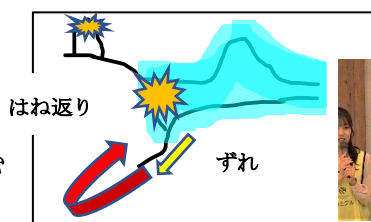


- ・クイズ2「地震は一日何回起きている？」

- 700回

- ・地震の起こる原因と津波が起こるわけ

- 海のプレートが陸のプレートに潜り込む
- プレートの境で起こる、活断層



起こる場所	プレートの境	活断層
起こる回数	少ない	多い
津波の発生	起こる	ほぼ起こらない

- ・波と津波の違い

- 東北大学での実験映像・・・波は上下に揺れる、津波は一気に押し流す

- ・津波の速さ

- クイズ3「津波は海の中と陸の上では、どちらが速い？」 →海

- 到達する前に高台へ早く避難する。
- 日頃の備えと行動が大切(正しい知識)



3 地震が起こったら

- ・通学中

- 頭を守る、ガラスが落ちてくる場所やアブロック塀から離れる。

- ・家の中

- ガス栓を止める。火元をシャットダウンする。逃げ道確保。情報収集(ラジオ)



4 まとめとアンケート

・準備や確認

→家族同士の約束(避難場所など)…災害ダイヤル171

→防災袋(水、非常食、簡易トイレ、笛、ウェットティッシュ、絆創膏、ナイロン袋、アルミホイルなど)



・大阪関西万博

→防災・減災についてのセミナー…みんなで力を合わせて、自分の命を守る。

・SAR衛星(合成開口レーダーを搭載した地球観測衛星)…現在 48 基

・HP:東京海ジョー…[検索]あしたの笑顔のために

・事後アンケート(事前は済)



[授業の感想](一部)

<児童>

- ・津波の速さにびっくりした。津波が地球の反対側まで届いているのにびっくりした。
- ・地震や津波の起こり方がよく分かった。
- ・日本は地震がものすごく起こっている。滋賀県にも思っていた以上に活断層が多い。
- ・日頃の備えの大切さがよく分かった。家に帰ったら家族で話し合いたい。
- ・たくさん大切なことを学んだ。地震が起こる前と起こった後でしておくことがよく分かった。
- ・クリアファイルごといただけて嬉しかった。
- ・説明がとても分かり易かった。また自主学習で調べようと思った。
- ・今までの不安が、少し安心に変わった。でも自然災害は身近であり、とても怖い。

<学校>

- ・地震と防災の学習で、押さえておきたいポイントを見事に伝えていただけて良かった。
- ・時間配分や話の流れが完璧で、とてもわかりやすかった。
- ・たくさんの資料やグッズまで準備していただき今後活用できる。
- ・プレゼンも、クイズで盛り上げ、先進的な映像で釘付けにするなどとてもよかった。
- ・児童が「あっという間に終わった。えっ、もう終わり。」と言うつぶやきが象徴しているように、児童にとって内容が充実していて引き込まれていたことがよくわかった。

☆ありがとうございました☆

